

日頃の探究活動の成果で最優秀賞に輝く

◇7月26日（日） 地域研究部、全国発表大会で最優秀賞受賞

7月25日から26日にかけて、神奈川県横浜市内で全国高等学校社会科学・郷土研究発表大会が行われ、総合的な探究の時間においても研究活動に取り組んでいる本校地域研究部が、公共・政策部門で最優秀賞を受賞しました。

25日は横浜市関内エリアの巡検が行われました。関内は横浜開港の地ということもあり、かつての外国人居留地の名残が建物などに今なお漂う地域です。関内駅に集合し、神奈川県庁、情報文化センター（旧商工奨励館）、横浜地方裁判所、三井物産ビルなどの建築物の見学、横浜市開港資料館と横浜都市発展記念館の観覧を行いました。途中、調査研究員の方からの解説を受けながら、横浜の歴史と地理について理解を深めました。

26日は、聖光学院中学校高等学校を会場に、発表大会が行われました。歴史・考古部門、地理・産業部門、公共・政策部門、ポスター部門の4つに分かれており、展示のポスター部門を除く3部門で発表が行われました。本校は公共・政策部門において「平和の語り部プロジェクト」と題し、戦争遺跡や戦争の証言をいかに記録し、活用するべきかについて地域の協力を得つつ、県に働きかけた活動と今後の展望を報告しました。

結果は見事、最優秀賞に輝きました。最優秀賞の受賞は2年連続4回目で、代替大会とも考えられる全国高等学校総合文化祭を含めると3年連続5回目となります。日頃の研究成果が評価されただけでなく、聞き取り調査など地域住民の方々のご協力と、地域の施設での発表の際のアドバイスなどが合わさっての受賞だったと理解しています。

今後も地域に根差した研究活動を進め、その成果を地域にいきます。

